

令和3年度
飯南町総合振興計画等評価委員会
答申書



令和3年5月28日 2020東京オリンピック聖火ランナー 報告会

令和3年9月10日
令和3年度 飯南町総合振興計画等評価委員会

1 はじめに

令和3年度の評価委員会では、令和2年度より開始した「第2次飯南町総合振興計画後期基本計画・第2期飯南町総合戦略」の1年目を評価いたしました。

令和2年度の施策実施状況について説明を受け、意見交換を行うとともに、これまでの成果について確認をいたしました。

答申書の作成にあたり、地域住民や各種団体から選ばれた幅広い委員の意見を取りまとめておりますので、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりのための政策・施策の検討資料、また令和2年度よりスタートした「第2次飯南町総合振興計画後期基本計画・第2期飯南町総合戦略」の施策推進の参考資料として皆様にご周知いただきますようお願いいたします。

2 評価委員会の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、「飯南町総合振興計画・飯南町総合戦略」の進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進すると定められています。

同要綱に沿い、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行いました。

3 評価の方法

飯南町総合振興計画に掲げる施策の実施状況や進捗などを所管課から説明を受け、意見交換を通じて評価委員より助言・提案を行いました。

また、地域住民等への施策説明などを行う際の参考になるものと考え、委員から出た質問についても取りまとめています。

4 評価の状況

1) 評価委員による総評

昨年度は、新型コロナウイルス拡大防止のため、様々なイベントや事業が中止や縮小となりました。そのため、事業の推進や重要業績評価指標（KPI）の達成が難しかったのではと思われます。

しかし、KPIを達成するための体制がしっかりと構築されずに進められている事業が見受けられました。

KPIの達成には、達成するための体制整備が必要と思われますので、高い目

標設定になっていないかを含めて再度計画の点検を求めます。

また、施策全体として、住民にしっかりと情報が届いていない感じを受けます。住民に対する情報発信を再度ご検討ください。

2) 総合振興計画等目標指標の状況（抜粋）

| 目標指標 | 基準値 (H30) | 令和2年 実績値 | 基準値 比較 | 目標値 (R1) |
|------------------|-------------------------------|---------------------|-----------|---------------------------|
| 出生数 | 119人／5年 年23.8人 (H27-R1) | 26人 | ↑ | 150人／5年 年30人 (R2-6) |
| 社会増減数 | ±0人／年 (H27-R1) | -2人 | ↓ | +5人／年 (R2-6) |
| 婚姻数 | 14組／年 (H26-30) | 9組 | ↓ | 20件／年 (R2-6) |
| 飯南高校生徒数 | 174人 | 157人 | ↓ | 175人以上 |
| 入込観光客数 | 424,251人 | 336,810人 | ↓ | 450,000人 |
| ふるさと納税件数 と納税額 | 4,896件 141,885千円 | 6,552件 249,747千円 | ↑ | 6,500件 200,000千円 |
| Uターン 移住者数 | 9.5人／年 (H27-30) | 4人／年 | ↓ | 13人／年 (R2-6) |
| Iターン 移住者数 | 38人／年 (H27-30) | 36人／年 | ↓ | 40人／年 (R2-6) |

3) 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※飯南町総合振興計画に沿って記載

1 自治・協働

～住民が主役の協働のまちづくりを進める～

基本施策1-1 住民主体のまちづくりの推進

【意見・提案等】

施策1 まちづくり組織への住民参加の推進

・新型コロナウイルス拡大防止や災害などのため、研修やイベントなどがほとんど中止されている。しかし他の地域では、災害直後に縮小しながらでもイベントを行っている所もある。出来ることを出来る範囲でやるということが必要ではないか。

施策3 まちづくりの仕組みづくりと担い手育成

・KPIにある「地域づくり人材育成講座の受講生」が230人と目標を達成しているが、参加しているのは同じ人なのでは。230人という住民が参加した場合は、大きなムーブメントが起こっているのではと思う。実際の参加者総数（延べ人数ではなく）が何人であったか捉えておく必要がある。

・飯南町以外で盛んに活動している地域もあるため、他の地域の良いところは取り入れることも必要である。

施策4 地域コミュニティの活動支援

・集落調査から集落計画と進められているが、各地域に配置する集落支援員や公民館主事と行政が連携し、どの地域も遅れることが無いようにスタートが切れるように進めて欲しい。

・計画や事業が先に進んでいる地域もあるが、行政もしっかりと支援しながら進めて欲しい。

基本施策1-2 協働のまちづくりの推進

【意見・提案等】

施策5 対話を中心とした情報共有と情報発信の徹底

・様々な施策は魅力的であるが、住民に届いているのか疑問がある。情報の出し方を再検討してはどうか。

【質問等】

Q：集落支援員は何人いるのか。

Ans：公民館単位で配置しており、赤名、来島、谷、頓原はそれぞれ1名、志々地区は2名配置している。

基本施策 1 - 3 健全で効率的な行政運営の推進

【意見・提案等】

施策 9 行財政運営の効率化

- ・総合振興計画のすべてを取り組みたい気持ちは分かるが、マンパワーが足りていない感じがする。
- ・各施策をちょっとずつ取り組むやり方は一番良くない。どの施策に力を入れ、それ以外は後に回すという感じで、力配分を考えた推進が必要。
- ・K P I にこだわりすぎる。達成することも大切なことだが、すべて取り組むと中途半端な動きになる。
- ・新たに設置された まちづくり推進課 は、全体計画の管理もしながら、自らも事業を展開するのは無理がある。施策を絞り込んで取り組む体制や、取り組む方法を定めること必要である。
- ・まちづくり推進課は、住まいや定住、交通など多岐にわたっている。体制をしっかりとっておかないと動きが難しくなる感がある。
- ・指定管理の仕組みを見直すべきである。町外から広く運営者の募集を行っても良いのでは。

【質問等】

Q：空き家の数はどのくらいあるのか。

Ans：278 戸あり、その内地域資源情報バンクでは 146 件登録されている。これまでに 80 件は空き家を紹介して住まれている。

他の市町村では、空き家は増加傾向にあるが、飯南町は空き家活用の取り組みにより減少する状況となっている。

基本施策 1 - 4 職員の資質の向上

【意見・提案等】

施策 14 職員教育の充実

- ・全国的にデジタル化が進んでいるため、役場職員に専門のスタッフを配置してはどうか。
- ・I C T の推進で、国の人材利用も必要だが、民間の副業人材を利用し、デジタル化を図ってはどうか。

基本施策 1 - 5 小さな拠点の形成

意見・提案・質問等 無し

2 教育・文化・子育て

～飯南から世界を舞台に活躍できる人材を育てる～

基本施策2-1 子育てしやすい環境づくり

【意見・提案等】

施策18 地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり

- ・親御さんが働いている所の労働環境を整えるサポートをし、突然迎えや休みとなっても対応できるよう職場の支援を検討してはどうか。
- ・Iターン者の場合、祖父母との交流が乏しくなるため、地域の高齢者と関わる機会をつくり、地域で子どもを育てるきっかけを作るなど、具体的な取り組みが必要と思う。

施策21 子育て世代の経済的支援

- ・出産祝い金やオムツなど日常生活用品の支給など大変助かっている。ただし、お金を配ることが子育てしやすいまちというかは疑問に感じる。
- ・子育て世帯への経済的支援や保健師、相談員によるサポートは素晴らしいが、「地域ぐるみ」で子どもを育てるとは何なのかを捉えなおし、施策の内容に反映すべきである。

【質問等】

Q：乳児保育など機能の充実となっているが、子育てしやすいまちではなく、子育てしなくて良いまちとしての取り組みになっているのではないか。

Ans：様々な家庭環境もあり、預けざる負えない所もある。子どもは家庭の中で過ごすことが良い効果が出ると思っはいるため、この制度は良くないのかもしれないが、保護者が働きやすい環境をつくるということと、家庭の中で子を見るためにはどうすればよいのかという両面を見て対策を講じていく必要がある。

Q：保護者が働きやすくするためには、労働環境を整える、サポートする対策が必要では。

Ans：子育て応援企業として、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりや、子育て支援に積極的に取り組む企業を認定する制度がある。この対策を企業がメリットとして感じてもらえるようにしていきたい。

Q：在宅の保護者について、子育て支援センターを毎日開けて欲しい、連れていきたいというニーズは無いか。

Ans：社会福祉協議会が主体となり、毎週水曜日に「ほっと。c a f e」を開催され、集まる場を設けている。今後子育てに関するアンケートを実施する場合もあるためニーズを把握していきたい。

Q：「ほっと。c a f e」などを保育所に併設して対応することはできないか。

Ans：「ほっと。c a f e」は別の会場で行っているが、保育士もスタッフも限られた数で行っているため、早急の対応は難しいと考える。

Q：高校生の医療費無料はいつから始めるのか。また対象者は。

Ans：令和3年10月から行う。住民票が飯南町にある生徒であれば対象となる。

基本施策2-2 保小中高が連携した学校教育の充実

【意見・提案等】

施策26 保小中高の連携によるキャリア教育の推進

- ・キャリアパスポートについて、子どもたちはこうあるべきという枠を作らず、一人一人が違うパスポートを持つことを受け入れる形で進めて欲しい。

施策27 ICT教育の実施

- ・心の天気というアプリがある。自分の心の状況を晴や雨で例えて、ボタンで知らせるものだが、その日の生徒の状況を先生が把握することができる。口には出せないが、ボタンは押せるということもあり、検討してみてもいい。
- ・ICT教育は今後重要となるため、費用をかけてでも民間の専門人材を投入してはどうか。

施策28 飯南高校の魅力化

- ・高校の魅力化は、全国的にも広がってきており、飽和状態になっている気がする。飯南高校の魅力化が他校でも取り入れられたため、差が少なくなっているのではと思われる。今後は、町の教育理念などを基本にしつつ、しっかりと進学できるというブランドが必要。中山間地域で高いレベルの高校があるということを打ち出してはどうか。
- ・飯南高校を卒業後の関係人口（地域外生徒）について、卒業後10年間は年に1回宿泊無料券など配布し、帰る機会をつくる対策を行ってはどうか。

【質問等】

Q：ICT教育で使っているコンテンツは何か。

Ans：Googleのワークスペースを使っている。

Q：タブレットを導入してからの状況はどうか。

Ans：頓原中学校の校長先生が熱心に取り組まれたおかげで大変進んでいる。タブレットも全生徒に配布し、飯南町校長会でも研究会が立ち上がり取り組んでいる。中学校はタブレットを持ち帰り、振り返り授業も行っている。

Q：タブレットを持ち帰って、通信環境は大丈夫か。

Ans：インターネットを繋いでいる家庭は良いが、繋いでいない家庭は無線ルーターを無償配布している。

Q：ICT教育の導入にあたっての問題点はあるか。

Ans：子どもたちは、遊び感覚から入っていき、すぐに慣れていく。問題とすれば、先生方がどのように授業に活用していくのかというところで悩むことがある。また、4月になると異動で先生が変わることがある。常に先生方

への研修が必要となっている。

Q：ICT教育で、小学校のコンテンツはあるのか

Ans：小学校用のコンテンツもある。文部科学省からのおすすめというものもある。

Q：ふるさと教育として、新聞社との連携、何か配信できないかと考えているが、想定される取り組みは無いかな。

Ans：飯南町では、タブレットが身近なものとなっている。山陰中央新報社のNIE¹など、中学校であればオンラインの授業は可能である。

Q：キャリアパスポートの活用方法は。

Ans：子どもたちのありのままを見るための物で、その時にどう思い、どう考えてきたのかを残し、背伸びせず書いていくことが重要となる。飯南町としては教育基本大綱の基本理念など思いは示しつつではあるが、それぞれ個人を大切にしていってほしい。

基本施策2-3 地域で育む教育環境づくり

【意見・提案等】

施策29 学校・家庭・地域が連携した教育環境づくり

- ・島根県隠岐など、中学生の海と山の留学協定を結び、多様な交流機会を組み合わせることはどうか。
- ・ふるさとシンポジウムで話し合ったことを実現させることと、その過程を発信してほしい。

基本施策2-4 生涯学習の充実

【意見・提案等】

施策39 本に親しむ環境づくり

- ・図書館は、図書館長が配置され、住民が利用しやすい環境へと整えられた。社会福祉協議会のデイサービスの方が借りれるようにするため、庁舎便での返却もできるように対策を講じられている。地域と共に勉強しようとする姿勢や、子育てサロンとしての機能も持たれており、大変感謝している。

【質問等】

Q：図書館貸出冊数の目標が年間で22,000冊は多い気がするが。

Ans：新たに図書館を整備し、本も導入してきた。本の冊数と比例して貸し出し数も増加するという設定している。

¹ NIE：「newspaper in Education＝教育に新聞を」学校で新聞を教材として活用してもらう活動：島根県NIE推進協議会HPより

基本施策2-5 平等に暮らせる社会づくり

意見・提案・質問等 なし

3 産業

～誇れる産業を創出し、飯南町のブランド力を高める～

基本施策3-1 飯南ブランドの構築

【意見・提案等】

施策43 森林セラピー事業の推進

・森林セラピーの利用者数の目標が3,000人となっているが、これを受け入れられる体制が整っていない。目標数値に見合う体制を作るように。

【質問等】

Q：ブランドについて、米はどこでも作っているが、これ売るよりはパプリカを扱う方がやりやすいのでは。

Ans：飯南町の米はレベルが高い。引き合いも多く、セブンイレブンも取り扱っている。ブランドを作るには、ある程度の産地化が必要であるが、飯南町のパプリカは（まだ数量も少なく）国産という表記で売られている。しっかりとPRするとともに、まとまった数量を確保することが今後必要である。

基本施策3-2 農林業の振興

【意見・提案等】

施策49 農業生産施設の整備

・リースハウスは、建てる際に規格が定まっているため、使用する際に合わないことがある。規格を柔軟に対応することができないか検討して欲しい。
※ハウスのサイズは対応可能。ただし雪対策のためパイプの太さについては定めている。

・鉄の価格が高くなり、リースハウスのリース料が高くなってきている。リース期間を長く設定し、年間のリース料を下げることができないか。

【質問等】

Q：リースハウスは、借りた後にいずれ返すことになるのか。

Ans：毎年リース料を頂き、ある程度就農者に貸した後に、減価償却を過ぎた場合は農業者に渡すことも考えている。

基本施策 3-3 観光の振興

【意見・提案等】

施策 53 情報発信機能の強化

- ・外国人観光客入込客数の目標も 600 人となっている。飯南町全体で対応できるのか疑問である。その対策についても考えて欲しい。
- ・情報発信力を高めるため、副業人材の活用を検討して欲しい。観光の他、ふるさと納税についても情報発信を検討してみてはどうか。

【質問等】

Q：サイクリングロードについて、国道にブルーラインを付けたが、その効果はあったか。

Ans：感覚的にサイクリストが多くなった感じはするが、具体的にどの程度誘導されて来ているのかは把握していない。

基本施策 3-4 商工業等の振興

【意見・提案等】

施策 57 経営基盤の強化

- ・昨年はコロナウイルスのため、商工業は大変であった。この中、企業に対して支援や柔軟な対応をされ、事業者は大変喜んだ。収束は見えないが、引き続き様々なことで支援等をお願いしたい。

4 保健・医療・介護・福祉

～地域の力ですべての住民の健康と長寿をめざす～

基本施策4-1 健康づくりの推進

【意見・提案等】

施策61 健康的な生活習慣の向上

- ・食育として、これを食べて欲しい、これを食べなさいという指導ではなく、添加物の危険性を伝え、農薬をあまり使っていない食材を選ぶなど、食について住民や特に子育て世代を教育していく取り組みが必要。
- ・食に対して意識の高い方は良いが、意識が低い人はインスタントラーメンを食べ続ける方もいる。町をあげて声掛けしてくれると食育も推進しやすいのではと思う。

【質問等】

Q：健康管理システムの個人的な情報は、どの程度の範囲で周知されているのか。

Ans：保健福祉課の職員が見れるようになっている。人によっては気を付けてあげなければならない場合もあるため、情報共有はしておかなければならない。公務員には守秘義務をしっかりと守り、住民にメリットや恩恵をお返しするという役割もあり、職員が見ることをご理解いただきたい。

基本施策4-2 地域医療の維持・充実

【意見・提案等】

施策65 地域に合わせた設備及び診療体制の充実

- ・赤名地区に医療機関がない。赤名診療所を開設できないか。

【質問等】

Q：飯南病院に産婦人科（出産）を設けることはできないのか。

Ans：病院のスケールを考えると難しい。専門的な治療の場合は島根大学との連携で対応するが、通常の出産は町外の産婦人科となる。妊娠期から保健師が関わっていき、出産は町外産婦人科となるが、その前後のケアは病院と連携して対応している。

Q：あらゆる世代をサポートするという事であるが、どのくらい利用者があるのか。

Ans：子育ての相談といっても、構成する家族も見なければ解決できないこともある。逆に高齢者の相談であっても、子育て世代との生活がある場合は、子ども達のケアも含めて対応することがある。また親や子が同居していないことによる問題もあるため利用者数は明確には分からない。

Q：包括ケアや支援センターは何人体制か。

Ans：専属保健師が1名、子育て支援員が1名、助産師が毎週木曜日に1日来て
ている。高齢者は、包括ケアの職員が3名、保健師が6名と事務者を含めて
対応している。その他、同室には福祉事務所もあり、病院と含めて全体で対
応している。

基本施策4-3 地域福祉の充実

【意見・提案等】

施策68 地域福祉体制の強化と担い手の育成

- ・介護人材の確保が出来ず、介護施設では利用者人数を制限する状況もみられ
る。介護人材を確保するため、定住対策と連携しつつ何かしらの特典など考
えて欲しい。
- ・介護人材の不足は聞いているが、保育施設とドッキングさせて運営している
所もあると聞く。他の良い事例を導入する事も考えてはどうか。

【質問等】

Q：介護人材確保として支度金を支給する事業はあるが、長続きしないと聞
く。その理由は何か。

Ans：職場ごとに違いがあるが、人数が少なくなると、仕事や役割が増えて働
くことが苦しくなるという傾向もみられる。職場環境の改善について考え
ていく必要がある。

Q：介護人材の支度金をもらい、町内から町外へ転職すると返還となるが、町
内から町内へ転職した場合は返還となるのか。

Ans：町内から町内の企業等へ転職された場合は返還とならない。

基本施策4-4 高齢者などにやさしい環境づくり

意見・提案・質問等 なし

5 生活環境

～快適な環境で安心して生活できる～

基本施策5-1 定住の促進

【意見・提案等】

施策75 住環境の整備

- ・定住住宅を整備する事も良いが、定住住宅の方は集落に入らず定住住宅のグループに入ってしまう。空き家の活用であれば、その地域の自治会に入ることになり、地域に馴染みやすくなることもある。まちおこしやまちづくりに繋がりやすいのでは。
- ・町内の方を町内に留める対策として、高校を卒業して近くで就職し、親元を離れて一人で生活したいという方向けのアパートなどを検討してみてもは。
- ・空き家のD I Yなど積極的に取り組み、定住のため活用してはどうか。飯南高校にD I Yクラスやクラブを作ってみてはどうか。

施策79 関係人口の拡大

- ・関係人口は、増やすという考え方も必要だが、その方に地域として、町として何を求めているのか、何をしてもらいたいのかなど関わり方を見せていく必要がある。
- ・ふるさと宅急便で、アンケートを同封して地域との関り方の可能性について調査を行った。取り組みの方向性が作れればと思う。

【質問等】

Q：町内の方を町内に留めさせるという施策が進んでいない感じがするので、町内の親元から少し離れるための支援（単身住居や生活支援等）を用意してみてもどうか。

Ans：U I ターン者ばかりを優遇していると言われるが、飯南町での施策は在住者も活用できる。住宅整備助成金はよく活用されている。

基本施策5-2 生活基盤の整備

【意見・提案等】

施策83 情報通信網の整備・維持・活用

- ・高速通信網を整備され、高齢者等の安否などへの活用と説明があったが、タブレットを各家庭に配布したほうが早いのでは。活用方法をしっかりと定めて進めて欲しい。
- ・町内にW i - F i を整備することと、各戸にタブレットを配布すれば、防災時の情報収集も対応もスムーズになるのでは。
- ・飯南町のI C T教育の環境は素晴らしいが、高齢者など情報機器に弱い方を取り残さないよう支援が必要である。

施策 84 上下水道の整備

- ・上下水道の整備や管理にPPPを検討してみてもどうか。

施策 87 ゴミ処理施設の整備

- ・ゴミの分別は、極力少なくできるように、新たな施設では考えて欲しい。
- ・ゴミの分別は買う側にも責任がある。ゴミの分別が嫌であれば、紙パックの物を選んで買うなどすればよい。目標とすればゴミの量を減らしていくため、行政も住民も共に何が出来るのかを考えることが重要である。

【質問等】

Q：計画では「自動運転など新技術を導入」とあるが、こういったものか。また導入する場所はどこで、運営方法はどうなっているか。

Ans：令和2年9月に自動運転サービスの長期実験を行い、その結果を踏まえて令和3年の秋口から本格稼働する予定。導入場所は赤名地区で、運行は、町内の旅客運送会社に委託する。

Q：ケーブルテレビのインターネットの接続数はどのくらいか。

Ans：約2200世帯の内、947世帯が接続している。

Q：ゴミの分別について、しっかりと分別されているのか。

Ans：ピックアップにより、ゴミの分別調査を行ったが、しっかりと分別されていないかった。ゴミ分別の研修も行っているので、繰り返し周知を行ってきたい。

Q：ゴミ分別の研修会は、どの程度行っているのか。

Ans：コロナ対策のため、自治会単位と小さい単位で申し込みを受け付けている。令和3年7月末時点で、56件の自治会や団体が分別勉強会を受講した。

基本施策 5-3 消防・防災対策の充実

【意見・提案等】

施策 89 防災設備の整備

- ・風水害が多くなってきている。ケーブルテレビの機能を使い、建設課や産業振興課などで吸い上げた情報を流す伝達システムを再度検討して欲しい。
- ・7月12日の水害時など非常事態こそケーブルテレビの情報発信が重要となる。強化を図ってほしい。

基本施策 5-4 防犯・交通安全の充実

意見・提案・質問等 なし

6 自然環境

～豊かな自然を守り生かす～

基本施策6-1 自然環境の保全

【意見・提案等】

施策94 自然環境保全意識の啓発

- ・自然環境の学習は、子どもも必要ではあるが、大人も必要ではないか。大人を対象にした学習も検討してみてもは。

施策96 山林や水資源の保全

- ・除草剤の良し悪しなど、どれだけ森林環境に影響があるのか、これまで当たり前になってきたことに対して、それが本当に良いのかという事へ注目し、自然環境や水質の保全について研究してはどうか。

基本施策6-2 地球温暖化防止対策の推進

【意見・提案等】

施策100 新エネルギーの活用促進

- ・2030年に再生可能エネルギー電源構成比率を40%にする目標を政府は出してきた。このことを睨み、飯南町も再生可能エネルギーについて検討をすべきである。

その他 意見等

- 新型コロナウイルスにより、新しい生活様式が標準となり、コロナ前の状態に戻ることは難しい。その中で、マスクの配布、ふるさと宅配便、コロナワクチン接種など、飯南町はいち早く対応している。職員数も限られているため、KPIの見直しが必要ではないかと思う。

5 評価委員会の開催日程と時間

開催日：令和3年8月11日（水）

場 所：飯南町役場 2階会議室

時間と説明する事業数

| | |
|-------------|------------------|
| 13:30～14:25 | 全体説明、まちづくり推進課 |
| 14:25～14:50 | 総務課 |
| 14:50～15:10 | 建設課 |
| 15:10～15:20 | 休 憩 |
| 15:20～15:55 | 住民課 |
| 15:55～16:20 | 産業振興課 |
| 16:20～16:50 | 教育委員会 |
| 16:50～17:20 | 保健福祉課・福祉事務所・飯南病院 |

6 添付資料

- ・【資料1】 評価委員会名簿
- ・【資料2】 島根県発表 令和2年国勢調査（速報）
- ・【資料3】 第2次飯南町総合振興計画・第2期飯南町総合戦略
重要業績評価指標（KPI）一覧
- ・【資料4】 令和2年度 地方創生推進交付金事業実績及び令和3年度事業
～国立公園「三瓶山」を核とした観光振興～
- ・【資料5】 令和2年度 地方創生推進交付金事業実績及び令和3年度事業
～森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト～
- ・【資料6】 令和2年度 地方創生推進交付金事業実績及び令和3年度事業
～高校を核とした新たな人づくり・
人の流れづくりプロジェクト～
- ・【資料7】 令和2年度 総合振興計画の施策実施状況報告書

7 令和3年度 飯南町総合振興計画等評価委員会

| 委員氏名 | 所 属 等 | 備 考 |
|-------|-----------------------------|------|
| 田中 稔 | 公募による住民 | 委員長 |
| 古賀崇真子 | 地域おこし協力隊 | 副委員長 |
| 吾郷由美子 | 飯南町社会福祉協議会 地域福祉課 課長 | |
| 加津山幸登 | 飯南町商工会 事務局長 | |
| 徳永 光子 | (株)山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長 | |
| 小玉 泰宏 | 山陰中央新報社 コンシェルジュ局 次長 | |
| 貫田 理紗 | 島根県中山間地域研究センター 地域研究科 研究員 | |
| 川住 京介 | 農業者 | |
| 大島 健 | 公募による住民 | |